

喜連瓜破付近橋梁大規模更新工事は全工程の工事が完了しました
長期間にわたり多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます

皆さまに見守られて “世界初”の工法で挑んだ大工事が無事完了しました

平素は阪神高速の事業にご理解とご協力を賜りますこと、心よりお礼申し上げます。

工事着手から3年以上もの長期間にわたり取り組んでまいりました〈喜連瓜破橋梁架替工事〉はこの度、路下の復旧も終わり、すべての工事が完了いたしました。

振り返りますと、1日でも早く工事を完成させることを使命に、2022年2月9日の工事着手に始まり、6月1日より14号松原線を通行止めし、本格的に工事を進めてまいりました。世界初の工事工法「オーバー・ザ・ブリッジ工法」を用いての既設橋桁の撤去、さらには持てる技術を存分に活かした新設橋桁の架設作業等、大きなトラブルもなく順調に架替え工事を完了させ、2024年12月7日、約2年半ぶりに14号松原線の通行を再開することができました。

この間、通行止めに伴う渋滞はもとより、工事実施に際しての作業音や機械音、瓜破交差点の通行規制など、地域の皆さまには大変なご負担をおかけしましたが、ご理解・ご協力をいただき、予定より早く工事を完成できましたこと、改めてお礼申し上げます。

新設橋桁等の架設作業ではたくさんの方々に深夜の作業にもかかわらず見守っていただきました。工事体験イベントや通行再開前のウォークイベントにも多数ご参加をいただき、また、工事情報館にも毎週水曜日という限られた開館中、多くの方々にご来館いただきました。このように本工事は地域の皆さま方とともに進めてきたものであると、身を持って実感すると共に大変感謝しております。

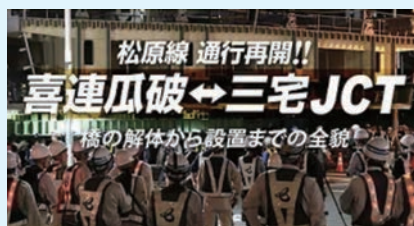
最後になりましたが、今後も地域の経済活動や皆さまの生活を支えるため、先進の道路サービスの実現に務めてまいります。引き続き、地域の皆さまのご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

阪神高速道路株式会社
管理本部 大阪保全部長
三嶋 大悟



【喜連瓜破 橋梁架替え工事】二年半の軌跡 ～100年先を見据えて～（ロング版）

2022年6月から通行止めによる橋梁架替え工事を行っていた14号松原線が、2024年12月7日に通行再開しました。既設橋梁の空中撤去から新設橋梁の架設、通行再開までを、担当社員の想いと共に紹介します。



動画への
アクセスは
こちらから



土木学会の映画コンクール最優秀賞受賞

喜連瓜破付近橋梁大規模更新工事に関するお問合せは

阪神高速
お客さまセンター

06-6576-1484 24時間受付

※一部時間帯はWEBにてご案内しております。受付時間についてはホームページをご確認ください。

阪神高速道路株式会社 管理本部 大阪保全部 改築・更新事業課

大成・富士ピーエス・MMB 異工種建設工事共同企業体

阪神高速ソーシャルメディア 公式アカウント



2025年6月

安全・安心・快適な道路を100年先まで



阪神高速リニューアルプロジェクト



喜連瓜破付近 橋梁大規模更新工事 NEWS

2025 Vol.7 最終号

高速道路・路下工事を含め
全工程の工事が
完了しました。



2025年6月撮影

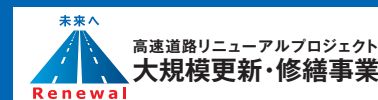
喜連瓜破付近橋梁 大規模更新工事とは

阪神高速リニューアルプロジェクトの一環として、阪神高速14号松原線において、喜連瓜破付近の橋梁の架替えを実施した工事です。今回工事を行った橋梁は、供用から約40年経過したコンクリート橋ですが、長期の健全性・耐久性を確保するために、架替え工事を実施しました。



工事の
概要

工事名	喜連瓜破橋大規模更新工事
施工場所	大阪市平野区喜連西～瓜破西 付近
発注者	阪神高速道路株式会社 管理本部
受注者	大成・富士ピーエス・MMB 異工種建設工事共同企業体
工事内容	阪神高速14号松原線の喜連瓜破橋の架替え



数字でわかる 喜連瓜破付近 橋梁大規模 更新工事

中央径間架設のタイムラプス動画の
X(旧ツイッター) 合計再生回数

約100万回

※2025年6月1日現在の再生回数です。

交通量の多い都市部の主要交差点の上空という極めて困難な条件の中、既設橋梁の空中撤去に始まり、新しい橋桁の架設など、まさに「世紀のプロジェクト」と呼ぶにふさわしい、ダイナミックで高度な技術を要する作業を進めてまいりました。特に、巨大な橋桁を設置する作業は、工事の中でもハイライトとなる瞬間でした。

中でも、2024年9月14日に実施した、中央径間架設の大規模作業の様子を捉えた動画には、非常に多くの皆さまから関心をお寄せいただきました。



～【喜連瓜破架設工事】のタイムラプス公開～

現場の作業員の延べ人数

約78,000人

現場の作業員の延べ時間

約680,000時間

撤去した既存構造物の重量

約6,600t

約154mの橋を架替えるため、約6,600tのコンクリート構造物を撤去しました。このうち桁部分の約5,000tはオーバー・ザ・ブリッジ工法により、残りの橋脚部分の約1,600tは足場内で、いずれも昼夜を問わず作業を行い、解体を実施しました。地域の皆さまのご理解により、夜間作業が可能となったことで、工程を大幅に短縮することができました。これに対し、新たな橋はコンクリートから鋼製に変更したことで、架設総重量は約1,500tと、撤去前の1/4以下に大幅に軽量化されました。さらに、耐震性も向上し、鋼製橋に新たな技術を取り入れることで、100年先も安心してご利用いただける高速道路へと生まれ変わりました。



仮設桁の組み立ての様子

2023
グッドデザイン賞 受賞

本工事で採用した橋梁解体工法「オーバー・ザ・ブリッジ工法」が、2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。この工法は、交通量の非常に多い瓜破交差点の真上に架かる橋梁を撤去・解体するにあたり、地域の皆さまの生活に欠かせない街路交通を妨げることなく解体作業を行うために設計された、空中完結型の解体工法です。それは世界初の取り組みでもありました。「走行中の道路上空で約5,000tものコンクリートを解体するという、凄まじい技術」として高く評価されました。



既設橋梁(橋桁)の撤去



2024年6月1日に実施した南側の新設橋桁架設



中央径間の移動



橋脚の接続位置の調整

